

松岡 亮 個展

「誰かに愛されている空。誰かを愛している空。」

会期：2023年12月2日（土）～12月24日（日）

会場：SAI

この度SAIでは、松岡亮の個展「誰かに愛されている空。誰かを愛している空。」を開催します。SAIでは2021年に続き、2度目の個展となります。

www.saiart.jp

1974年、東京に生まれた松岡は90年代より路上や旅先などストリートでの活動を始め、90年代後半には様々なビルの屋上にのぼり紙を敷き詰め大空の下に描く「東京屋上」の連作や、ミュージシャンやライターなど他者と即興で行うライブペインティングなど、東京のストリートシーン黎明期において先駆的な表現者として認知されます。

2000年代以降も国内外で発表を続け、ファッションブランド「ヨウジヤマモト」とのコラボレーションをはじめ、「Joyce Hong Kong (ジョイス・ホンコン)」や「L'ECLAIREUR Paris (レクレール・パリ)」での展示。2020年に大阪にオープンしたLe Cafe Vや、2022年に全面リニューアルをしたルイ・ヴィトン池袋店に天井画を描くなど、様々なシーンを飛び越え活動の幅を広げ続けています。

松岡の制作は、ペインティング、ドローイング、刺繍など様々なメディウムをしますが、その表現は一貫して深い没入感の中、即興で描かれます。

「作品を作る事が何かの目的では決してなく。ただただ遊び。」と語る松岡の作品からは「描く」ことへの根源的な喜びを感じるとともに、意識と無意識下を漂う行為の痕跡として作品の持つ純粋性が喚起されるようです。抽象や具象、絵画や刺繍という言葉の区別を超えて、まるで自然の中で木々が生え育つように、作品が自らの意志を持ち生まれてきたような感覚に駆られます。



www.saiart.jp

本展「誰かに愛されている空。誰かを愛している空。」は、100号を超える大型の刺繍作品と、1部屋を全て使ったドローイングのインスタレーションで構成されます。

松岡の刺繍作品にはミシンが使用されるのですが、ペインティングと同じように全て即興で制作されます。ミシンは当然それ自体が動くことはなく、その前に座る松岡が支持体となる布を動かす事によって1本の線が引かれ、色面を生み出す際には、何重にも布を前後に動かし往復させることによって形作られていきます。作品の全体像は完成するまでは見る事ができず、制作時にはミシン台に広げられた両腕の範囲のみが視野となり、上下左右も曖昧な中で、感覚だけを頼りに糸を打ちつけていきます。

1つの作品を完成させるに膨大な時間と集中力が必要となる刺繍作品からは、ペインティングとは違う身体性と時間軸を感じる事ができます。本展では身体の動きが直接的に形になるドローイングと対比させる事で、表現の可能性と差異を浮き出させます。

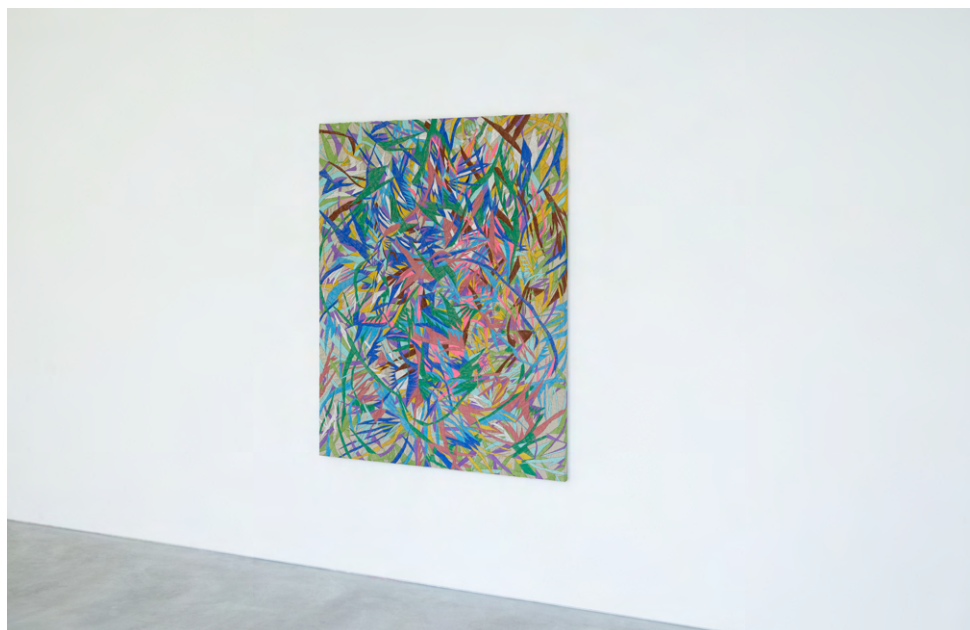
目には見えないがそこにある何かを、言葉にならないが確かに生じる感情の断片に触れるような松岡亮の作品を。幼少期より描き初め、40年以上たった今も変わらず描き続け、この先も描き続ける松岡亮の個展を是非ご高覧ください。

「何を見たのか？ 何を知ったのか？ 何を忘れたのか？ 美しい旅だった。

ゆっくりと動き出し。少しずつ削ぎ落とされて。自分自身に戻っていく。

遊びの、遊びへ。ただただ、描き。」

- 松岡 亮



www.saiart.jp

● 展覧会情報

松岡 亮 個展

「誰かに愛されている空。誰かを愛している空。」

会期：2023年12月2日（土）～12月24日（日）

場所：SAI

住所：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 6-20-10

RAYARD MIYASHITA PARK South 3F

時間：11:00 - 20:00（無休）

電話：03-6712-5706

メール：info@saiart.jp

Instagram：[@sai_miyashita](https://www.instagram.com/sai_miyashita)

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願いいたします。

尚、詳細のお問い合わせ等ございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

SAI メール：info@saiart.jp